

エグゼクティブ フォーラム

新型コロナ危機と米中対立の激化により、グローバル情勢は不安定化する様相を呈している。そのなかで、東アジアの国を中心とする15カ国は地域的な包括的経済連携協定(RCEP)に合意した。アメリカではトランプ政権に代わるバイデン政権が誕生した。アメリカのアジア戦略如何によって、東アジアの情勢に大きな影響を及ぼすことになる。菅政権は安倍政権の基本方針を継承するとしている。すなわち、日米同盟を重視することである。しかし、同時に中国との経済協力を模索しているようだ。今回のエグゼクティブフォーラムはこのような問題意識を踏まえ、日本が進むべき針路を明らかにする。

参加
無料

要・事前申込
定員200人

プログラム

開会あいさつ 静岡県立大学長 鬼頭宏

趣旨説明
講演 1

「中国経済の長期展望と習近平政権の
グローバル戦略」
静岡県立大学グローバル地域センター
特任教授 柯隆

《講師プロフィール》

1963年、中華人民共和国・江蘇省南京市生まれ。愛知大学法経学部入学。92年、同大卒業。94年、名古屋大学大学院修士課程修了(経済学修士号取得)。長銀総合研究所国際調査部研究員(98年まで)。98～2006年、富士通総研経済研究所主任研究員、06年より同主席研究員を経て、18年より東京財団政策研究所主席研究員。主な専門分野は開発経済、中国のマクロ経済。著書に『中国「強国復権」の条件「一帯一路」の大望とリスク』(2018年慶応大学出版会、第13回榎山純三賞受賞)ほか。

講演 2

「2021年の経済展望:コロナ・ショック下の
世界と日本」
東京財団政策研究所上席研究員 早川英男

《講師プロフィール》

1977年東京大学経済学部を卒業、日本銀行に入行。1983～85年、プリンストン大学大学院に留学(経済学専攻、MAを取得)。日本銀行在職中は調査統計局長(2001～07年)、理事(2009～13年)などを歴任。富士通総研経済研究所エグゼクティブフェローを経て現職。主な専門分野は日本経済、経済政策、金融政策。著書に、『金融政策の「誤解」』(2013年慶應義塾大学出版会、第57回エコノミスト賞受賞)ほか。

開催日時

令和3年 2月12日(金)
13:00 ~ 14:45

申込期限:2月10日(水)

開催方法

オンライン配信
(Zoomウェビナーを使用します)

オンライン視聴の注意点

- ◆視聴される際にはWi-Fi環境が無制限になっているかを必ず御確認ください。
- ◆フォーラムの録画、録音、撮影は固く禁止しております。

申込
方法

グローバル地域センターのウェブサイトまたはQRコードからウェビナー登録を
してください。登録完了後に接続方法をご案内します。

<https://www.global-center.jp>

グローバル地域センター エグゼクティブフォーラム

検索



主催・お問い合わせ
後 援

静岡県立大学グローバル地域センター

静岡県、静岡新聞社・静岡放送、時事通信社静岡総局、(一財)静岡経済研究所、静岡県産業振興財団、(一社)静岡県経営者協会(公社)静岡県国際経済振興会、(独)日本貿易振興機構静岡貿易情報センター、(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター
静岡県日中友好協議会

TEL 054-245-5600 FAX 054-245-5603

E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp <https://www.global-center.jp>